

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	169 男女共同参画講座事業経費	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本 施策	41 あらゆる場に男女がともに参画する社会をつくる	目	18	男女共同参画費
		細目	152	男女共同参画推進経費
		細々目	53	男女共同参画講座事業経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部課	コード	603000	担当者氏名	藤林宏通
	名称	鳥ヶ原住民福祉課	連絡先	59 - 2109 (内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	鳥ヶ原支所管内の市民	※対象件数
成果(どうする)	社会の構成員として認め合い、男女が共同して社会に参画することについて、理解が深まる。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 17 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H22 事業内容	・男女共同参画推進セミナーを開催 NPO法人シーン遠矢 家永子事務局長の講演 40名参加 ・10月から12月の地区懇談会において、男女の性差の設問を作成し、話し合いを実施(全8区)	
社会情勢の変化等	男女共同参画の社会実現に向け、各種事業が展開されている。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
			男女共同参画講演会の開催	回	1	1

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
				男女共同参画講演会の参加者数	千名	100	100
会場でのアンケート結果	%	85	85	85	85		

投入コスト	H21 決算		H22 決算		H23 当初予算		H24 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
	直接事業費計(A)	26	30	34	34			
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	26	30	34	34				
事業投入人件費(B)	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	
フルコスト(A)+(B)	746	750	754	754				

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○
市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○	
民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		男女共同参画意識を年齢を問わず広く啓発することができる。参加者が固定化しつつあり、それを解決するため事業を継続していく必要あり。
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 60%以上80%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	関係機関との連携・調整を行い、住民の関心に沿ったテーマを設定し、参加を促す。
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効果性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	本年度、女性問題は男性問題であるとの認識に基づき、男性に対する意識啓発を図るため講演会を開催する。鳥ヶ原地域人権同和教育推進協議会を通じ、構成団体に講演会等への参加を強く働きかけていく。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 昨年は、計画していた時期に他団体等の事業が多くあったため、時期を移動し開催した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	田槇 公博
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	男女共同参画社会の実現に向け、市民の男女平等に対する意識を高めていく必要があり、各種講座や講演会により意識啓発を行う必要があるため、現状維持とする。
現時点における課題、その他	平成18年に実施した鳥ヶ原地区人権問題意識調査では、地域社会や家庭・職場で男性の方が優遇されていると感じている意見が64.6%、夫が働き妻が夫を支える家庭が良いとする意見が61.4%となっている。こうした男女の地位の不平等感や性別役割分担意識を解消していく必要があるが、講演会等への参加者が固定されてきており減少傾向にある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	女性問題は男性問題であるとの認識に基づき、男性に対する意識啓発に努める。鳥ヶ原人権同和教育推進協議会や鳥ヶ原地域まちづくり協議会を通じ、構成団体に講演会等への参加を強く働きかけていく。